

協会敬 大阪府歯科保険医協
会誌 大阪府浪速区幸町1-2-33
大発行人 志岐 大
電話 (06)6568-7731(代
表) http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

保険でよい歯科に期待

「保険でよい歯科の実現へ」。2018年の医療介護の同時改定で歯科医療の改善を勝ち取ろうと、協会が高齢者や障がい者団体などにも署名への協力を呼び掛けてきた。安倍政権が社会保障改善を進めるなか、「保険でよい歯科医療」への期待が高まっている。署名に協力してもらった各団体の声を紹介する。

国の責任で充実を

茨木・とんぼ作業所支援員



長谷川洋子さん(左)
渡慶次陽子さん(右)

作業所を利用する約120家族に署名用紙を1枚ずつ渡したところ、ほとんどの人が協力してくれて、414筆も集まりました。障がい者の歯科医療要求の強さを感じています。作業所には歯みがき習慣がない、うがいができないなど、さまざまな困難を抱えている人がいます。私たち支援員が歯みがきを手伝っていますが、口腔ケアの訓練を受けているわけではなく、ケアが不十分になって

窓口負担引き下げて

全日本年金者組合大阪府本部



村崎秀子さん(左)
橋本広子さん(右)

「村崎」年金が8万円余りしかないため、毎月貯金を崩しながら生活しています。顎関節症の治療で長年、歯科に通っています。歯科だけでも毎月数千円になります。2014年に70歳以上の窓口負担が2割になったため、1割で済むと思っていた医療費が重くのしかかっています。医療・

介護費用のために、定年後の生活に困窮する「老後破産」「下流老人」などといった言葉が他人ごとではありませぬ。「橋本」私たちが15年に実施した「介護意識実態アンケート」には今と将来の医療費負担を心配する声が多く寄せられています。高齢者がお金の心配をせずに歯科医を受診するには、窓口負担の引き下げが何より大切です。最後に自分の歯の治療です。配偶者の「DV」や「経済的DV」のため、歯の治療をあきらめていたママも少なくありません。ただし、福祉助成制度が使えるのは保険診療のみです。保険でより良い歯科治療の実現をみんなが心から願っています。

自分の治療は一番最後に

大阪社保協事務局長

寺内順子さん

「やっと歯医者さんに行けるようになりました」——これは離婚して大阪府の「ひとの親世帯医療費助成制度」が使えるようになったあるシンママ(シングルマザー)の言葉です。大阪社会保険推進協議会

が取り組む「シンママ大阪応援団」でサポートしているママたちにも歯の治療を必要とする人が多いです。育ち盛りの子どもの食費、教育費が優先で、一番願っています。最後に自分の歯の治療です。配偶者の「DV」や「経済的DV」のため、歯の治療をあきらめていたママも少なくありません。ただし、福祉助成制度が使えるのは保険診療のみです。保険でより良い歯科治療の実現をみんなが心から願っています。

総選挙結果を受けて

小澤理事長が談話

総選挙結果を受けて、小澤理事長が10月23日、次の談話を発表した。

今回の総選挙では前回の総選挙に引き続き、自民・公明与党が3分の2の議席を獲得しました。自民党は小選挙区では48%の得票率で218議席(75%)を、比例区では33%の得票率で66議席(37.5%)を得ました。

安倍内閣は、憲法「改正」と消費税増税で信任を得たとしていますが、憲法「改正」や消費税増税は、国民多数の声とは言えません。

安倍政権の「森友」「加計」疑惑隠しのための党略的な突発的解散のもと、医療、年金、社会保障など国民の関心が高い問題について十分な議論が行われないうままに投票日を迎えました。

変えるべきは憲法ではなく、憲法の目指した国づくりからかけ離れた今の政治です。国民の基本的な人権が保障され、平和と生活が守られる憲法を生かした政治こそが求められています。

安倍内閣は5年間で社会保障費を累計1兆4600億円削減し、診療報酬のマイナス改定と医療保険料、窓口負担

協会が憲法を守り、歯科医療、社会保障の充実、先生方の生活と権利を守るため全力を尽くします。

基軸

カジノ誘致を検証する ⑥

静岡大学教授・鳥畑与一氏に聞く



維新の会の松井一郎大

阪府知事は関西経済の活性化の起爆剤として、夢洲へのI-R型カジノの誘致を推進しています。カジノで本当に大阪は元気になるのか。府の

「I-R立地による影響調査」では、大阪万博前年にマリナーベイ・サンズ規模のI-Rを先行して開業するとし、集客数は1300万人、雇用は30万人増と推計している。経済効果は8600億円、税収効果は600億円と試算するなど、まさにバラ色の未来を描いている。しかし、調査をよく見ると

と肩唾な話が多い。カジノ以外の収益を大きく見積もるため、集客数はシンガポールの観光客I-R訪問率(38%)を大阪に当てはめた。その半面、I-R以外の客が大きく減る想定になっている。I-Rが開業すれば運営

会社は集客のためにカジノのものを格安のホテルやレストラン、ショッピング施設を展開するだろう。I-R客が増えれば、その裏返しとして大阪の他の施設を訪れる客

I-Rは最悪のカジノだ。I-Rが不平等な価格競争で多くの客の消費力を地元経済から奪うから、カジノを合法としていけるイギリスでさえ、I-R型カジノは認めなかつ

「我が国は、自然、歴史文化・気候・食という観光振興に必要な4つの条件を兼ね備えた世界でも数少ない国の一つ」と説明している。日本が観光資源に恵まれた国であることはカジノ推進派も認めている。

シンガポールがカジノに頼ったのは、狭小な都市国家で歴史が浅く、観光資源に乏しいからだ。16年の外国観光客数と消費額の増加率をみると、シンガポールは7年前と比べ2倍にも届いていない。日本はわずか5年で外国客数を4倍に、消費額を5倍に増やした。カジノをつくらなくても、大きな成果を挙げている。それだけの観光資源を持っている国が、なぜI-R型カジノに頼らなければならないのか。観光政策を根本から問い直すべきだと言いたい。

観光政策根本的に見直せ

協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。

社保研究部 06-6568-7467
共済部 06-6568-7438

歯界

フレアーとは女性の脚部を隠す衣装だが、戦闘機が

ミサイルの追撃をかわす目くらましの大炎弾でもある。10月には米軍はフレアー発射訓練を敢えて日本人に目視される広島県上空で行った。北朝鮮との戦闘をイメージした訓練だったのかもしれない。

それほど米朝関係は緊迫しているのか。あるいは総選挙真っ最中の日本人に危機感を煽って、アメリカの意向を忖度する安倍自民党の尻押しが狙いではないかと勘繰らせるほどの絶妙のタイミングである。

思い返せば、日本の不戦平和の旗印がアメリカの対日政策転換によって急旋回したしたのは、67年前の朝鮮戦争勃発からである。南北朝鮮はいまも「休戦中」で、その対立構図は継続中である。朝鮮半島は日本に一番近い外国で、古くからの交友の歴史も不幸な歴史もあったが、良好な関係を築く叡知は日・朝両民族にあるはずだ。大国の利害に振り回されるようなことがない。